

【事務事業調査】

事務事業名	老人クラブ団体補助金(老ク連分)		予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-03-01-03-000201010
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 係長	高齢者・介護係 吉葉恵子	事業の分類 既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 老人クラブ活動の充実強化を推進するため、町老人クラブ連絡協議会に対し、活動推進事業費、健康づくり事業費等の補助金を交付しました。	社会奉仕活動、教養講座開設、スポーツの振興活動等、老人クラブの活動強化が図られ、健康でいきいきとした生活基盤の強化に繋がります。
	H24 事前評価 老人クラブの活動を強化し、高齢者の生きがいづくり、支え合い活動等高齢者の豊かな生活支援に寄与できるよう、補助金を交付します。 補助額は、県の高齢者地域福祉推進事業の補助基準額により算出しました。	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
老人クラブ会員数	1,200人		H23年度当初会員数 1,159人

■事業費(計画)

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 補助金	632	活動推進事業分 180,000+@60×1,200人=252,000円 健康づくり事業分 300,000円 地域支え合い事業分 30,000円 活動支援体制強化事業分 50,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
	632	

■事業費(実績)

【単位:円】

細節	金額	特記事項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計画 【千円】	実績 【円】	特記事項
予算	当初予算額	632		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決算	決算額			
財源	国庫支出金			
	県支出金	198		H23年度実績で計上(県において、市町の補助対象経費割合に応じて配分される)
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	198		
	差引(一般財源)	434		

■補助金等名:老人クラブ連絡協議会補助金

■補助事業者等:高根沢町老人クラブ連絡協議会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	各単位老人クラブの提携と育成を図ることはもとより、町のあらゆる機会に、高齢者福祉の増進を図るための活動が期待されます。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	高齢化の伸展とともに、高齢者の生きがいづくり、支援体制の充実が必要となっており、老人クラブの活動を積極的に推進することで、会員のみならず、地域に密着した高齢者支援ができます。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	交付要綱に明記しています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	交付要綱に明記しています。 実績報告においては、支出の根拠を示す領収書等の添付を求めています。
		■予算の見積が適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	交付要綱に明記しています。 自主的な活動計画に基づいて、地域での活動参加を始めとした活動がなされているとともに、町全体の各種事業にも高齢者としての立場、多くの経験を持つ師としての役割も果たしています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		45	
総合評価		継続	